

現況検査により認められる状況の記録

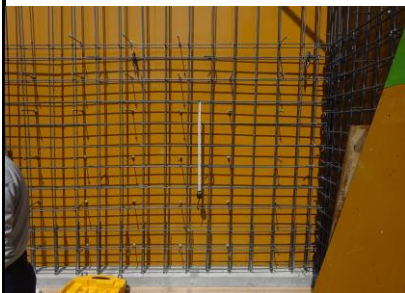
令和5年4月4日	
NO	1
場所	敷地
部位	全景



令和5年4月4日	
NO	2
場所	CD棟 (C棟)
部位	1階壁面 (CY 3~6 通り)
CD棟 (C棟) 1階壁面の配筋組状況。	



令和5年4月4日	
NO	3
場所	CY 6 通り
部位	W 1 8
計画通りに配筋組 (横筋: D10@200mm ダブル) が行われていることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

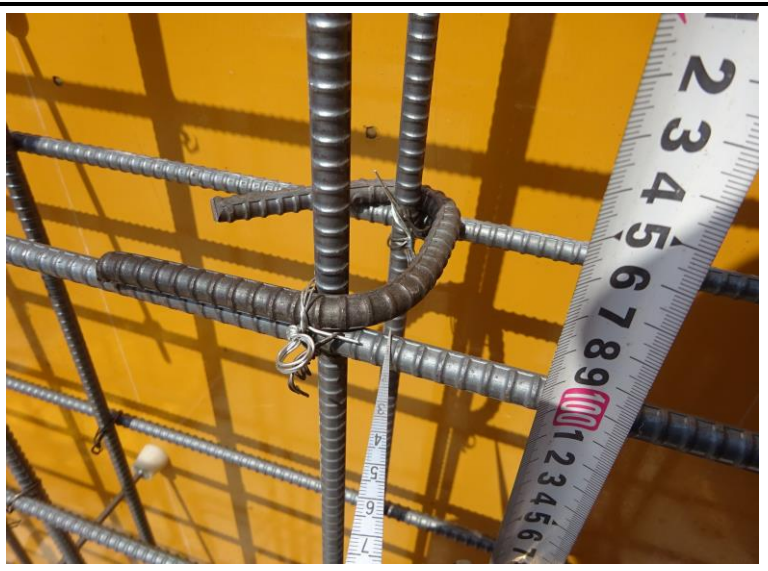
令和5年4月4日	
NO	4
場所	CY6通り
部位	W18
計画通りに配筋組（縦筋：D10@200mm ダブル）が行われていることを確認。 （縦筋は内側配筋、横筋は外側配筋）	
	



令和5年4月4日	
NO	5
場所	CY6通り
部位	W18
計画通りに巾止め筋が設置されていること を確認。（D10@1,000mm）	
	



令和5年4月4日	
NO	6
場所	CY6通り
部位	W18
同上。	
	



現況検査により認められる状況の記録

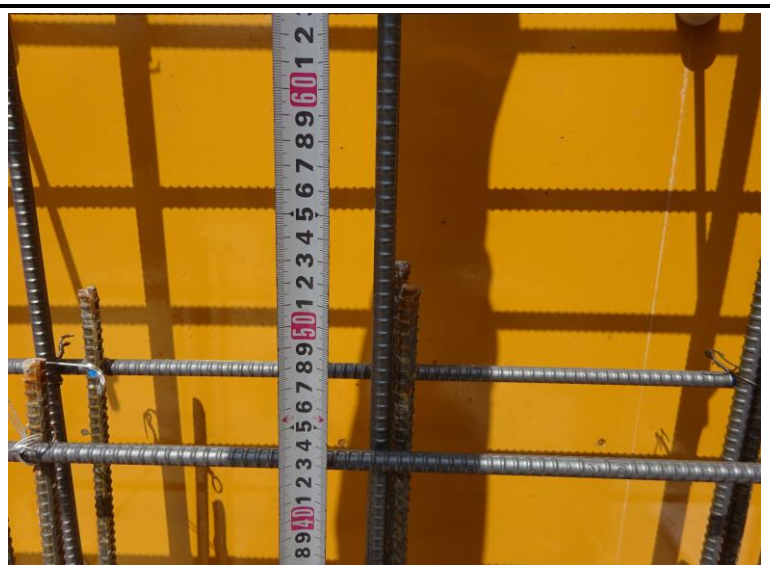
令和5年4月4日	
NO	7
場所	CY6通り
部位	W18
<p>第1縦筋、及び、幅止め筋の設置位置が計画通りであることを確認。(端部補強筋が複配筋の場合、第1縦筋は1P以内となる。)</p>	
	



令和5年4月4日	
NO	8
場所	CY6通り
部位	W18
<p>壁厚200mm (増し打ち20mmを含む) に対して鉄筋かぶり厚さ30mm (内外共) が確保される状況であることを確認。</p>	
	

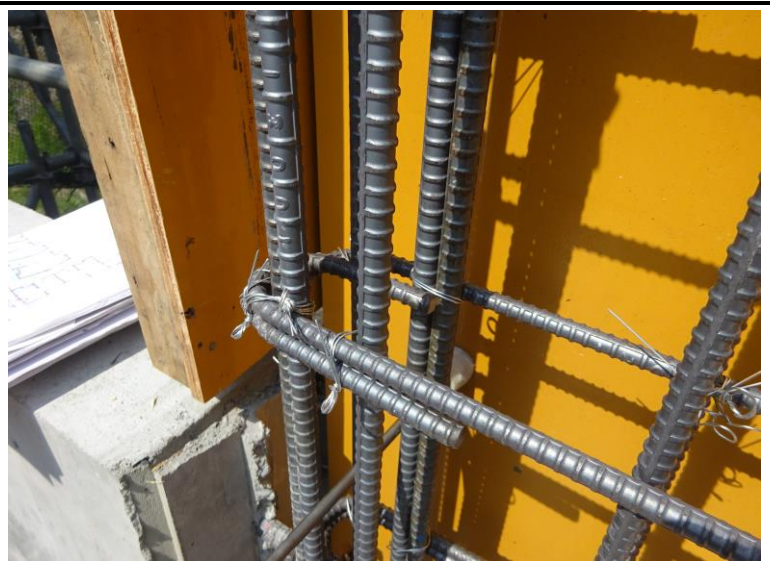


令和5年4月4日	
NO	9
場所	CY6通り
部位	W18
<p>壁立上がり筋との定着長さ (L1: 細い方の鉄筋がD10の場合、$D10 \times 40 = 400\text{mm}$以上) が確保されていることを確認。</p>	
	



現況検査により認められる状況の記録


令和5年4月4日	
NO	10
場所	C Y 6 通り
部位	W 1 8
壁端部の横筋はHOOP状に加工されていることを確認。	

令和5年4月4日	
NO	11
場所	C X 4 通り
部位	W 1 8 B
計画通りに配筋組（横筋：D13@150mmダブル）が行われていることを確認。	




令和5年4月4日	
NO	12
場所	C X 4 通り
部位	W 1 8 B
同上。	




現況検査により認められる状況の記録


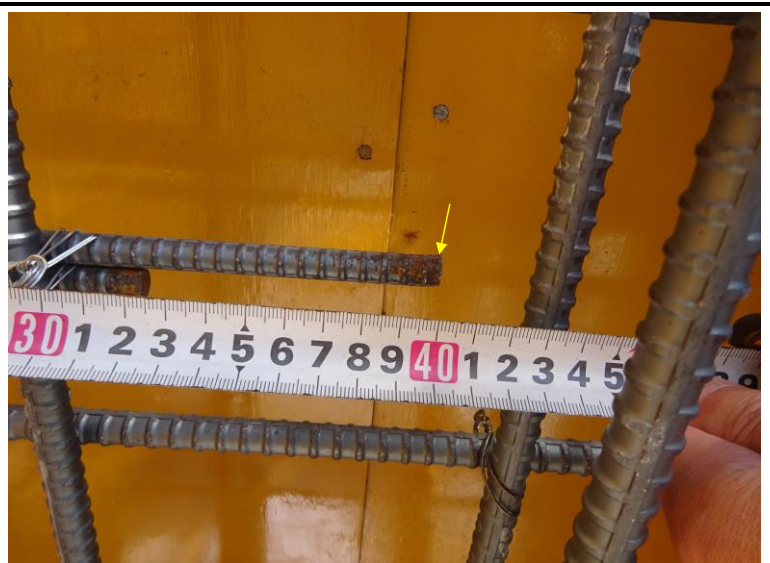
令和5年4月4日	
NO	13
場所	C X 4 通り
部位	W 1 8 B

計画通りに配筋組（縦筋：D13@150mmダブル）が行われていることを確認。





令和5年4月4日	
NO	14
場所	C Y 6 通り
部位	W 1 8

W 1 8 のL型交差部（W 1 8 B への定着）では、計画通りの定着長さ（L2：D10×35＝350mm以上）が確保されていることを確認。

令和5年4月4日	
NO	15
場所	C Y 5 通り
部位	W 1 8

C Y 5 通りの型枠の設置計画状況（通り芯）を確認。計画通りの壁厚（内周部：180mm）であることを確認。





現況検査により認められる状況の記録

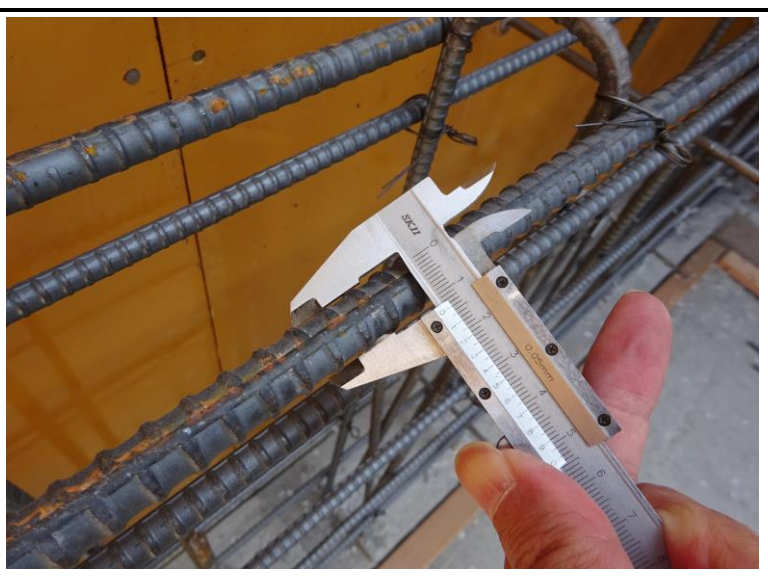
令和5年4月4日	
NO	16
場所	C Y 5 通り
部位	W 1 8
<p>同上。壁厚180mmに対して鉄筋かぶり厚さ30mm（内外共）が確保される状況であることを確認。</p>	
	




令和5年4月4日	
NO	17
場所	C X 5 通り
部位	W 1 8
<p>C X 3 通り（W 1 8）の配筋組状況。</p>	
	

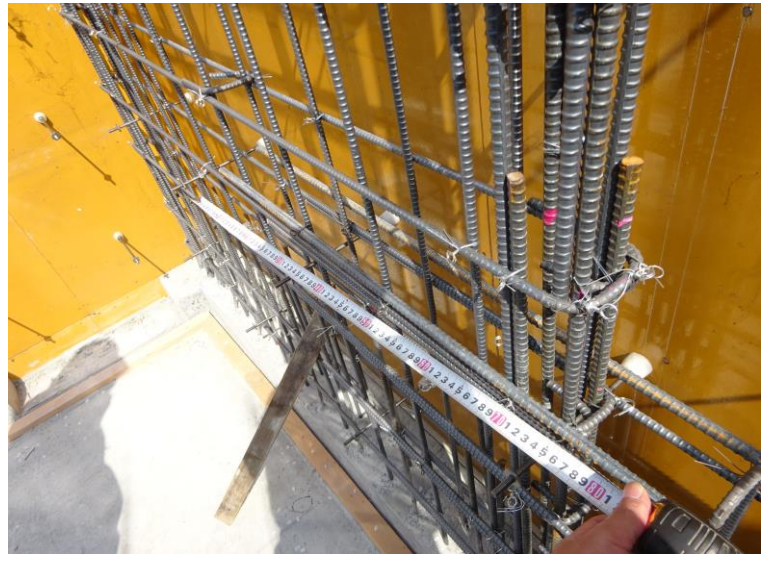


令和5年4月4日	
NO	18
場所	C X 5 通り
部位	W 1 8
<p>開口部廻りには、計画通りの開口補強筋（横筋：2-D13）が設置されていることを確認。</p>	
	



現況検査により認められる状況の記録

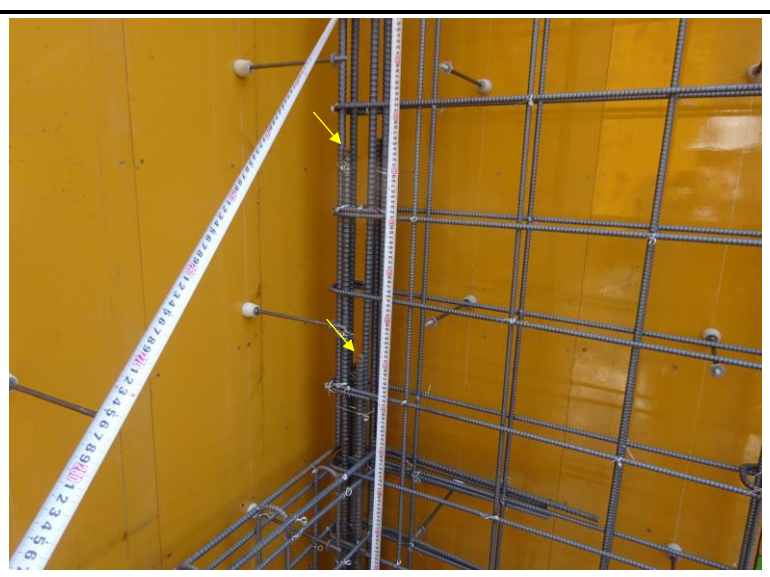
令和5年4月4日	
NO	19
場所	C X 5 通り
部位	W 1 8
<p>同上。開口補強筋（横筋：2-D13）は、定着長さ（L1：D13×40=520mm以上）が十分確保されていることを確認。</p>	
	



令和5年4月4日	
NO	20
場所	C X 5 通り
部位	W 1 8
<p>同上。開口部廻りには、計画通りの開口補強筋（縦筋：4-D13）が設置されていることを確認。</p>	
	



令和5年4月4日	
NO	21
場所	C X 5 通り
部位	W 1 8
<p>同上。隣り合う補強筋の重ね継手位置は、計画通り（$0.5 \times L1 = D13 \times 40 \times 0.5 = 260\text{mm}$以上）ずらして設置されていることを確認。</p>	
	

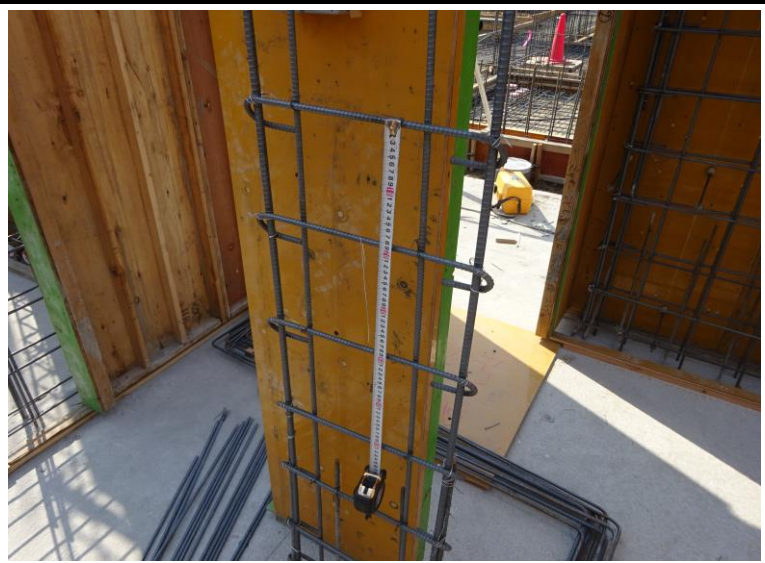


現況検査により認められる状況の記録


令和5年4月4日	
NO	22
場所	CD棟 (C棟)
部位	1階壁面 (CY1~3通り)
CD棟 (C棟) 1階壁面の配筋組状況。	




令和5年4月4日	
NO	23
場所	雑壁
部位	W15 (非耐力壁)
計画通りに配筋組 (D10@200mmシングル: 縦横共) が行われていることを確認。(横筋端部は180° フック付)	

令和5年4月4日	
NO	24
場所	雑壁
部位	W15 (非耐力壁)
同上。横筋端部の180° フックの余長は計画通り (4d = D10×4 = 40mm以上) であることを確認。	


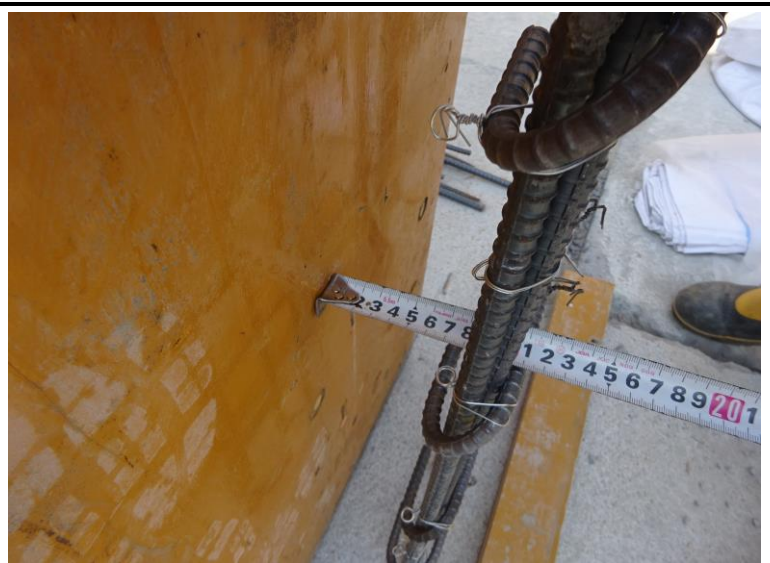



現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月4日	
NO	25
場所	雑壁
部位	W15 (非耐力壁)
型枠の設置状況が計画 (施工図) 通り (150mm+20mm) であることを確認。	




令和5年4月4日	
NO	26
場所	雑壁
部位	W15 (非耐力壁)
同上。鉄筋かぶり厚さ30mm (内外) が確保される状況であることを確認。	

令和5年4月4日	
NO	27
場所	CX5 通り
部位	W18
開口補強筋 (横筋: 2-D13) は、定着長さ (L1: D13×40=520mm以上) が十分確保されていることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

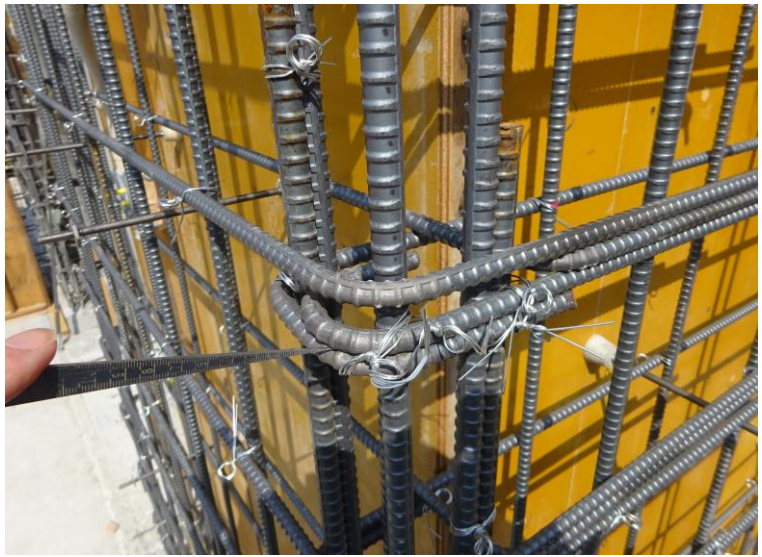
令和5年4月4日	
NO	28
場所	CY2通り
部位	W18

W18のL型交差部の横筋の定着長さ (L2: D10×35=350mm以上) が計画通り (一方をHOOP形状として完結させている複配筋の場合) であることを確認。




令和5年4月4日	
NO	29
場所	CY2通り
部位	W18

同上。W18のL型交差部では、一方をHOOP形状として完結させている複配筋であることを確認。

令和5年4月4日	
NO	30
場所	CY1通り
部位	W18B

CY1通りのW18Bの配筋組状況。

